

HIGASHI COMPASS

- 球技大会
- 3CDEチロル学園合宿
- 技能紹介
- 部活動試合結果

思春期の家庭教育

校長 菊地 知恵子

○ 6月の学校

コロナが5類に位置づけられ出口が見えたかと思いきや、中学校では6月に入って感染者が続きました。学級閉鎖を実施せざるを得ず、ご心配をおかけしました。登校後、運動や食事前後の手洗い、換気は習慣化しており、「密」と思われる状況を避けています。学級閉鎖期間にはクラスが入りまじる清掃や合唱練習、部活動も停止しました。潜伏期間を2日ほどと見ていた今までは違い、数日を経て次の感染があらわれ、関連の有無も明らかではないのが特徴です。今は収束しつつありますが、コロナ以外の感染症もあり、感染症につきあっていく日常には心配がたえません。しかし過去3年間のような強い制限は、子どもの成長上に適切ではないでしょう。気を付けつつ前に進む強さを持ちたいと思います。

○ 中学生としての社会性

13歳から15歳までの身体的な成長は生後1年間に匹敵するほどであり、男子の身長伸びは平均で15cm（女子は4cm）と言われています。卒業時に入学式の画像を見ると、顔立ち、姿の大変化に驚きます（特に本人自身が）。中身の変化は、もっと顕著です。

思春期の「変わり目」は自立への、未熟さから成熟への「出口にさしかかる」時期です。生活上の世話が主であった小学校時代の親子関係から、社会人としての視点で子どもを客観的に見るギアチェンジは、ご家庭でできているでしょうか。この時期、家庭での会話がスムーズではないこともあるかもしれませんが、どう対応されていますか。

最近の子どもたちは恵まれ、守られ慣れ、穏やかに成長しているように見えます。同時に中学生年齢になりながらも、精神的にはなかなか

幼さが抜けずに苦労している様子も見受けません。自分に対する厳しさが持てなかったり、または社会性が未熟なまま、学校でも家庭でも振る舞いの上で注意を受けることなどです。また反対に「周りの友達の幼い言動が、すごく気になる」ということも聞きます。未熟さを脱出して、大人としての社会性を身に着けつつある姿です。しかしまだ未熟さを脱出できない生徒は、何かしらとぶつかり、自分のやり方が通らない心地を持っていることでしょう。

この時期に親以外の人に育ててもらうことは大切で、学校の先生から、部活の先輩から言われることがストンと腑に落ちることは多いようです。家の中ではいつまでも子どもの位置は変わりませんが、学校という等身大の社会では自分の役割という衣をまとい、役割を果たすことで徐々に人格の幅（社会性）を広げ、幼さから脱出していくのです。

○ 親だからこそ言えることがある

家の中で良い子であっても、学校で、ひいては社会で通用しなければ、本人が立ちゆきません。親御さんとの関係も、正しく上下関係があって、初めて言い聞かせることができます。思春期の未熟さは、「反抗してもいい、言い訳」ではありません。言葉でのやり取りが主になるとは思いますが、「その言い方は良くない」「理屈が通らない」などあれば、ぜひハッキリと言ってください。親だからこそ言えることには2種類あります。まず「第一の理解者だ」ということ。もう一つが、社会的に見て正しくない場合には遠慮なく「それは間違っている」と言うこと。理解者であるがゆえに、他人よりもハッキリ言ってやれるということになります。

子どもの教育が外注化されがちな昨今、家庭教育において、「やがて社会にでて通用する人間に」という常識的な視点は、学業の出来不出来よりも、かなり重要なことでしょう。失敗も糧に。子どもの未熟モードからの脱出に、ぜひご家庭で、お子さんと向き合ってください。

球技大会

天候にも恵まれ全試合、熱い戦いが繰り広げられました。ABクラスはバレーボールを行い、1年生は初めての球技大会でしたが、試合を重ねるごとに上達し、上級生と接戦するチームもありました。2年生は去年の経験をもとに3年生に対しても、力強いサーブ、粘り強いレシーブなど団結力を持って挑み、1位をつかみ取るチームもありました。1・2年生どちらも来年が楽しみになる試合内容でした。3年生は積み上げてきた技術やチームプレーで会場が盛り上がるプレーを連発。最上級生としての意地と団結力を感じさせ、後輩たちの良い目標となっています。クラスごとの勝利数によって決まる総合優勝は3年A組となりました。

CDEクラスで行われたポートボールでは1年生から3年生まで各学年で行われる練習では毎回勝利するチームが入り替わり、どのチームが勝ち上がってくるかわからない状態でした。初めてでも懸命に食らいつく1年生、打倒最上級生を掲げ見事目標を達成した2年生、最上級生らしくチームプレーで多くの点数を獲得した3年生とそれぞれの学年の良さが見られる試合内容でした。フリースローでは日頃の練習の成果が発揮され、緊張感の中、シュートが決まる場面が多く見られました。

順位	AB バレーボール (男子)	バレーボール (女子)	CDE ポートボール	CDE フリースロー
1	2 A①	3 B①	2 C	2 C
2	3 A②	3 B②	3 C	3 E
3	3 A①	3 A①	3 E	3 D



3年CDE組 南アルプスチロル学園合宿

中学校生活ラストのチロル学園合宿に行ってきました。昨年に引き続き、生徒たちも期待に胸を膨らませて参加しており、3日間、予定していた農業体験を全て行うことができました。初日は現地地域の方が所有している畑にて堆肥作りや雑草取りに励み、2日目は午前中に現地NPO所有の加工場にてさくらんぼをジャムにする初期工程(洗う⇒ヘタを取る⇒器具を使って種を抜く)を担い、午後は東学園専有にいただいている水田の田植えとその周辺整備を行いました。いずれも長時間にわたる作業でしたが、生徒たちは集中力を保ち、「仕事」としての責任感を持ちながら作業できたと感じます。自分たちの仕事ぶりが現地の方に評価され、また感謝されたことは非常に重要で貴重な経験となったことと思います。これから将来に向けての大きな糧となった合宿でした。



【生徒の感想】

- ・休憩中にザリガニとカエルを見つけました。ザリガニを見たのは初めてです。
- ・さくらんぼの種取りは、種がとんだり、汁が沢山出て、手がベトベトになりましたが、とても楽しかったです。帰りのバスから、野生の鹿を見ました。
- ・農作業だけでなく、部屋で友達と話したり、かるたを一緒にしたことも楽しかったです。

技能

(CDEクラス)

1～3年生が同じ教室でともに学ぶ技能の時間。各コースの取り組みの様子を紹介します。



手芸

それぞれがイメージしたデザインを元に刺し子をして、きんちゃく袋を作成しています。色の使い方などからも個性が窺えます。



絵画

あじさいをデザインの中心とした作品に取り組んでいます。着彩した色紙を細かく切って貼ることで、花びらを表現しています。



器楽

6月までは全員でギターの基本コードの練習をしました。今後は学園祭での発表に向け、担当する楽器の練習を始めていきます。

クラフト

現在、スタンドグラスを使った装飾品づくりを行っています。様々な工程作業の意味を理解しながら一つ一つ習得しています。

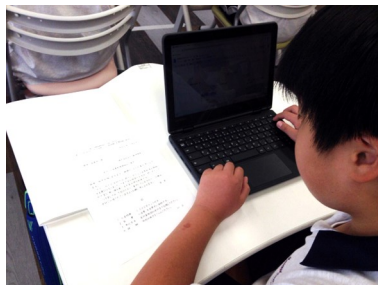


陶芸

デザインの段階から自分たちでアイデアを出し、ペン立ての制作をしています。完成後に自宅で使うことを今から楽しみに作業しています。

切り絵

1年生は基礎練習を繰り返すことで、カッターの使い方が上達してきました。2・3年生は季節の図柄を取り入れ、大きめの作品に挑戦しています。



コンピュータ

1年生はローマ字入力の基礎から練習。2・3年生は手書きの見本を見ながら、タイトルや日付などの体裁を整え文書の作成練習を行っています。

6月の部活動試合結果と今後の予定

硬式テニス部

- 東京都中学校テニス選手権大会予選第8ブロック大会(団体の部)
(6/18 男子東海大菅生中一中 女子小平二中)
- 男子団体 1回戦 対 国分寺二中 1-4 負
- 女子団体 1回戦 対 小金井緑中 1-4 負

陸上競技部

- 第74回多摩東部陸上競技大会 兼東京都大会予選3、4日目(入賞者)
(6/17、18 上柚木陸上競技場)
- 2年平井さん 共通円盤投 26m44 優勝
- 1年磯野さん 共通円盤投 15m93 4位
- 2年竹内くん 共通円盤投 18m63 6位
- 2年押木さん 共通800m 2分32秒15 7位
- ※都大会予選1.2日目を合わせて、多摩東部代表として個人8種目
女子リレーチームが東京都大会へ進出を決める(35年連続)

バスケットボール部

- 東京都中学校体育連盟バスケットボール部 101地区夏季大会
(6/18 早稲田実中)
- 男子 2回戦 対 多摩辺中 39-73 負

サッカー部

- 東京都中体連10支部夏季大会 (6/4 学芸大中6/10小平三中)
- 一次リーグ第3戦 対 小平三中 1-5 負
- 一次リーグ第4戦 対 小平四中 1-3 負

卓球部

- 令和5年度第10ブロック夏季卓球大会シングルス(2回戦以上)
(6/24 小金井一中)
- (男子)
- 2年松本くん 3回戦まで
- 3年赤池くん 2回戦まで
- 3年神谷くん 2回戦まで
- (女子)
- 2年庭野さん 2回戦まで
- 2年森田さん 2回戦まで
- 2年柳本さん 2回戦まで
- 3年鈴木さん 2回戦まで
- 3年新田さん 2回戦まで
- 3年宮澤さん 2回戦まで

